

## 法制次長からのメッセージ

### 最も国民に近く、最も国政の最前線に近い公務員

最近、公務員人気が落ちていと言われます。その一方で、公共のために奉仕したい、汗をかきたいという気持ちを持つ若者が増えている、という話も聞きます。そんな学生諸君にピッタリの職場が、衆議院法制局にはあります。

国民から直接選ばれ、様々な政治的要望を託された465人の国民代表が、唯一の立法機関に集い、国民からの要望を法律案という「かたち」に変換して国民の前に提示し、議論を戦わせ、最高の権威をもって結論を出す——そのサポートを国政の最前線でダイナミックに行うのが、衆議院法制局です。“政策を法律に”という標語は、議員の想いであり、国民の想いなのです。

国民に最も近く、国政の最前線に最も近い衆議院法制局で、既成概念の殻を破り、クリエイティブな発想で国民のために貢献したい、議会制民主政治の発展に貢献したい、そんな意欲あふれる学生諸君の挑戦を期待しています。



法制次長  
笠井 真一

## 研修

入局後は、新規採用職員に対して衆議院法制局独自の研修が行われるほか、衆議院事務局主催の合同研修などに参加します。そのほか、留学予定者を対象とした語学研修や衆議院事務局主催の階層別研修、人事院主催の行政研修など、多様な研修に参加する機会があります。

衆議院法制局独自の研修は、春と秋の年2回行われます。春の「初任研修」は、立案過程の概要や法制執務の基礎などの基本的な内容です。一方、秋の「法制立案業務研修」は、2週間程度と少し長めの期間で、実際に法律案・修正案の案文を書いてもらう演習形式を採用するなど、実践的な内容となっています。



▲法制立案業務研修

### ■ 新規採用職員に対する研修

春	<b>初任研修</b> ▶ 衆議院法制局の職務・立案過程の概要 ▶ 法制執務基礎 など (衆議院事務局主催 初任研修)
	<b>法制立案業務研修</b> ▶ 法制執務応用 ▶ 演習(一部改正案・修正案) ▶ 法制度設計の事例紹介 など (衆議院事務局主催 初任フォローアップ研修)
秋	

## 採用情報

### 採用試験の概要



- 第1次試験 (多肢選択式)**
  - 基礎能力試験: 一般知能(文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈)、一般知識(社会・人文・自然)
  - 専門試験: 憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学・財政学
- 第2次試験**
  - 論文試験: 憲法、行政法、民法
  - 面接試験
- 第3次試験**
  - 口述試験: 憲法を中心とする法律問題
  - 面接試験

### 業務説明会



- オンライン**
  - オンライン会議ツールを使用してオンライン方式で行う説明会。実際に立案を補佐した議員立法をテーマに、担当した職員がその具体的な立案過程を詳しくご紹介します。
- 衆議院第二別館**
  - 職員が実際に働いている職場(衆議院第二別館)において対面方式で行う説明会。
  - 職場見学など、職場ならではの企画をご用意しますので、職場の雰囲気に触れながら、衆議院法制局の魅力をより深く知ることができます。